

【作業部会 1】

適正規模に関する聞き取り調査

1 内容

中野市小中学校の適正規模と教育効果との関係をさぐる。

少人数化していく学校を見つめて、教育活動、学校経営にどのような変化が現れ、また変わろうとしているか教育効果の側面から見て教職員に尋ねることを通して。

2 方法

*中野市校長会へ尋ねたい内容を伝えておき、後日、各学校の教務主任又は学年主任に集まっていただいて面談を行う。

*市内 15 校を 2 グループに分けて行う。

3 質問したい内容

(1)単級と複数学級にかかわって

*子どもの学習・生活意識、行動、活動内容、活力

*学習効果

*交友関係

*その他

(2)10 人以下の学級と 10 人以上 35 人学級について

*学習目標の具現化、学力形成

*学習形態

*学習指導

*その他

(3)学年会、教科会の存在の意味・内容・運営、単級の学校での状況

(4)学年・全校運動行事や遠足・旅行などの中で年々変わりゆく変化について

(5)減少が続く今から 6 年後(H31)の児童生徒数をみて想像する学校の姿

(6)その他

4 その他

【資料】 作業部会 2 : 保護者アンケート<試案>

2013/11/20 代表・小島哲也

1. 調査の目的

適正規模と適正配置に関する諸事項について、市内の小学校及び中学校に通う子どもの保護者の意識とニーズを的確に把握し、今後の審議と答申に反映させるため

2. 調査の対象 <附表参照>

市内小学校 3 年生の保護者 409 名, 市内小学校 6 年生の保護者 490 名
市内中学校 3 年生の保護者 463 名 合計 1,362 名

3. 調査の時期 平成 26 年 1 月中

4. 調査の内容 (質問項目)

○ フェースシート

性別、年代、学校区、家族構成、保護者の卒業校 (小または中)

○ 質問項目

<小学校保護者>

- ・ 現在の学年の学級数をどう思うか?
- ・ 小学校 1 学年の望ましい学級数は?
- ・ 現在の学級の児童数をどう思うか?
- ・ 小学校 1 学級の望ましい児童数は?
- ・ 現在のお子様の通学時間は?
- ・ 小学生の望ましい通学時間は?
- ・ 現在のお子様の通学方法は?
- ・ 小学生の望ましい通学方法は?
- ・ 中学校 1 学年の望ましい学級数は?
- ・ 中学校 1 学級の望ましい生徒数は?
- ・ 児童 (学級) 数の減少をどう思うか?
- ・ 児童 (学級) 数の減少による影響は?
- ・ 中野市でどのような方策が必要と考えるか?

<中学校保護者>

- ・ 小学校 1 学年の望ましい学級数は?
- ・ 小学校 1 学級の望ましい児童数は?
- ・ 小学生の望ましい通学時間は?
- ・ 小学生の望ましい通学方法は?
- ・ 現在の学年の学級数をどう思うか?
- ・ 中学校 1 学年の望ましい学級数は?
- ・ 現在の学級の生徒数をどう思うか?
- ・ 中学校 1 学級の望ましい生徒数は?
- ・ 生徒 (学級) 数の減少をどう思うか?
- ・ 生徒 (学級) 数の減少による影響は?
- ・ 中野市でどのような方策が必要と考えるか?

作業部会 2 : 保護者アンケート<試案>

調査対象者数

(人)

	小学校	3年生	6年生	小計	中学校	3年生	合計
1	中野小	148	163	311	12 南宮中	199	
2	日野小	15	26	41			
3	延徳小	37	36	73			
	小計	200	225	425		199	624
4	平野小	81	93	174	13 中野平中	132	
5	高丘小	35	37	72			
	小計	116	130	246			
6	長丘小	13	12	25	14 高社中	93	
7	平岡小	31	47	78			
8	科野小	14	23	37			
9	倭小	9	10	19			
	小計	67	92	159			
10	豊井小	13	22	35	15 豊田中	39	
11	永田小	13	21	34			
	小計	26	43	69			
	合計	409	490	899		463	1362

数字は第 7 回審議会資料[学校基本調査統計,H25 年 5 月 1 日現在]による